

こども園は、お子様が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことで、一人ひとりのお子様が一日快適に生活できるよう、下記の感染症については意見書の提出をお願いします。感染力のある期間に配慮し、お子様の健康状態が保育園での集団生活が可能となってから登園になるようご配慮下さい。

意見書（医師記入）

モーツァルトしずかこども園 園長殿

園児氏名 _____

_____ 年 月 日生

(病名) (該当疾患に☑をお願いします)

<input type="checkbox"/>	麻しん(はしか)
<input type="checkbox"/>	インフルエンザ
<input type="checkbox"/>	風しん
<input type="checkbox"/>	水痘(水ぼうそう)
<input type="checkbox"/>	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
<input type="checkbox"/>	結核
<input type="checkbox"/>	咽頭結膜熱(プール熱)
<input type="checkbox"/>	流行性角結膜炎
<input type="checkbox"/>	百日咳
<input type="checkbox"/>	腸管出血性大腸菌感染症(O157、O26、O111 等)
<input type="checkbox"/>	急性出血性結膜炎
<input type="checkbox"/>	侵襲性髄膜炎菌感染症(髄膜炎菌性髄膜炎)
<input type="checkbox"/>	

症状も回復し、集団生活に支障がない状態になりました。

年 月 日から登園可能と判断します。

< プール時期のみ：伝染性伝染性膿痂疹(とびひ) >

年 月 日から症状が回復し、プールに支障がない状態になったのでプールを許可します

_____ 年 月 日

医療機関名 _____

医師名 _____

○医師が記入した『意見書』が必要な感染症

感染病名	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹(はしか)	発症1日前から発しん出現後の4日後まで	解熱後3日を経過してから
インフルエンザ	症状が有る期間(発症前24時間から発病後3日程度までが最も感染力が強い)	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで。 (幼児(乳幼児)にあたっては、3日を経過するまで)
風しん	発しんの出現の前7日から後7日間くらい	発しんが消失してから
水痘(水ぼうそう)	発しん出現の1~2日前から痂皮(かさぶた)形成まで	全ての発しんが痂皮(かさぶた)化してから
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで
結核		医師により感染の恐れがないと認めるまで
咽頭結膜熱(プール熱) アデノウイルス感染症	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え、2日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いいため結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで、又は、5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症 (O157、O26、O111等)		症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から1~2週間、便から数週間~数カ月排出される	医師により感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認めるまで

◎ポリオ・ジフテリア・赤痢等の法定伝染病に罹った場合、治癒証明書が必要です。